

株主の皆さまとのコミュニケーション誌

AGC Review

Vol. 40 [株主通信]
2022年3月発行

AGC



太陽光発電ガラス「サンジュール®」の採用によりZEBを実現したAGC鹿島工場本事務所棟

Focus

カーボン・ネットゼロ実現への
取り組み

AGC株式会社
証券コード：5201

Your Dreams, Our Challenge

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、2021年2月に長期経営戦略「2030年のありたい姿」およびその実現のための中期経営計画 **AGC plus-2023** を策定しました。

AGC plus-2023 の初年度である2021年度は、エレクトロニクスやライフサイエンスなどの戦略事業に積極投資をしました。コア事業では、東南アジアのクローラルカリ事業のさらなる基盤強化に取り組むとともに、北米建築用ガラス事業の事業譲渡や自動車用ガラス事業の生産ライン集約などの構造改革を実施しました。これらの取り組みに加え、戦略事業が順調に拡大したこと、製品市況が好調だったことから、前年と比べ大幅な増収増益となりました。その結果、昨年中長期経営計画の中で設定した目標を前倒しで達成し、今般、2023年に目指す財務目標を大幅に上方修正しました。

2022年度の業績見通しについては、クローラルカリ製品の市況軟化や原燃材料価格上昇が見込まれますが、戦略事業の伸長や半導体不足影響の緩和による自動車用ガラスの出荷回復から、増収増益を見込んでいます。



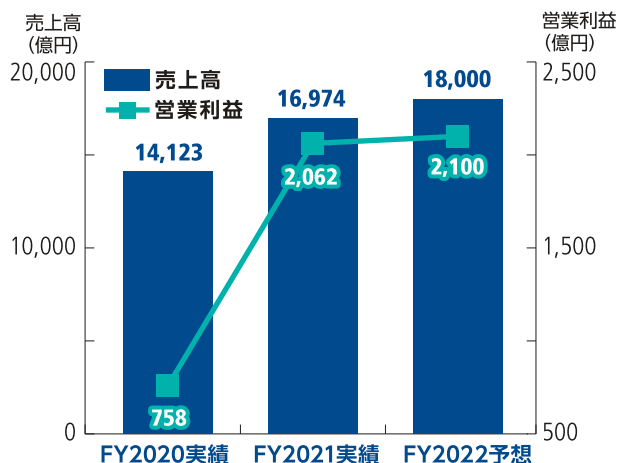
代表取締役・社長執行役員 CEO

平井 良典

2021年度 通期業績

売上高	営業利益
16,974 億円	2,062 億円

売上高・営業利益推移



AGC plus-2023 財務目標

	FY2021実績	FY2023目標 2021年2月時点	FY2023目標 (上方修正)
営業利益	2,062億円	1,600億円	2,300億円
ROE	10%	8%	10%
戦略事業 営業利益	538億円	700億円	800億円
D/E比率	0.41	0.5以下	0.5以下

持続的な成長に向けた事業ポートフォリオ変革

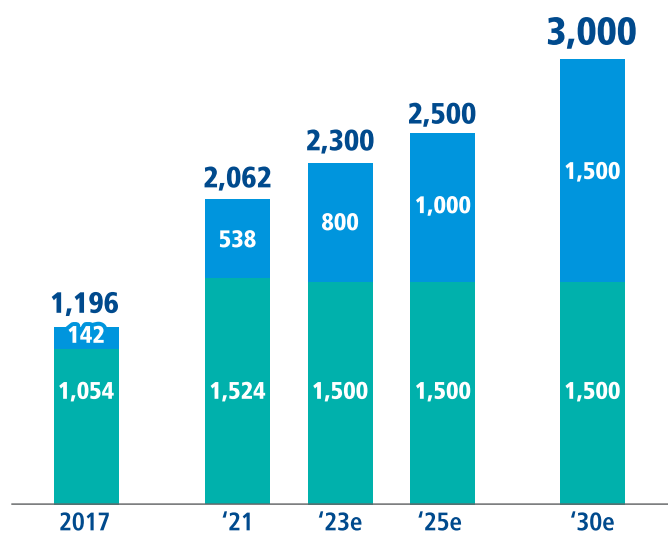
AGCグループは2030年のありたい姿実現に向け、市況変動に強く、高成長分野である「戦略事業」と長期安定的な収益基盤となる「コア事業」を両輪として最適なポートフォリオへの転換を図り、継続的に社会的価値・経済的価値を創出することを全社戦略にしています。

2030年のありたい姿

独自の素材・ソリューションの提供を通じて
 サステナブルな社会の実現に貢献するとともに
 継続的に成長・進化するエクセレントカンパニーでありたい

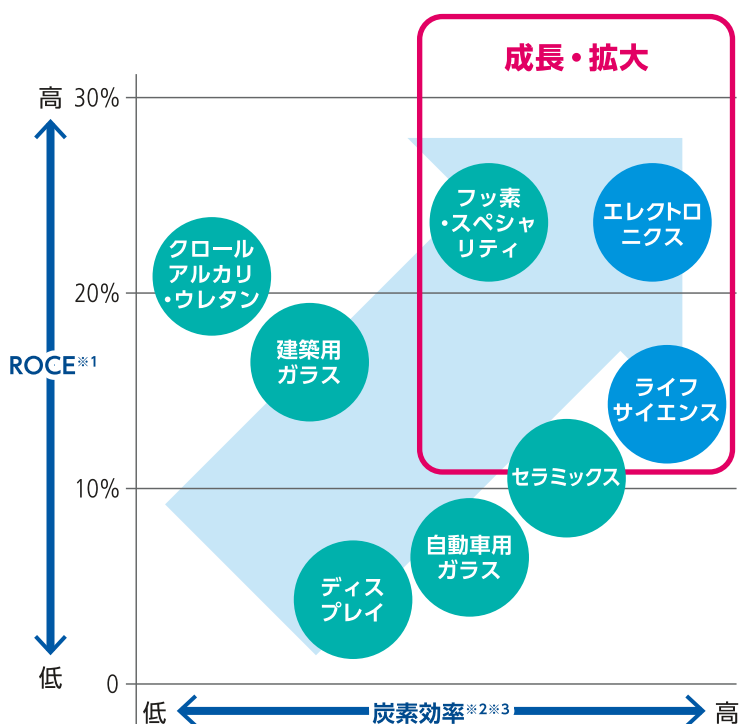
この戦略にもとづき、エレクトロニクスやライフサイエンスなどの戦略事業への積極投資を継続し、2030年には連結営業利益に占める割合を過半とすることを目指します。コア事業では、今後も成長が見込まれる東南アジアのクロールアルカリ事業やフッ素・スペシャリティ事業において基盤強化や積極投資を推進します。また、ガラス3事業（建築用ガラス、自動車用ガラス、ディスプレイ）においては資産効率改善に向けた施策を推進するとともに、高付加価値品の比率を高め、長期安定的な収益基盤とします。さらに、環境・エネルギー領域での技術開発・事業展開をコア事業・戦略事業の双方において加速し、世界のGHG排出量削減に貢献していきます。

営業利益構成 推移(億円)



戦略事業	コア事業
エレクトロニクス	ディスプレイ
ライフサイエンス	クロールアルカリ・ウレタン
モビリティ	フッ素・スペシャリティ
	建築用ガラス
	自動車用ガラス(既存)
	セラミックス

炭素効率と資産効率の向上



※1 2023年目標をもとに作成
 ※2 2020年売上高あたり排出量(実績)をもとに作成
 ※3 炭素効率 = 売上高 / 炭素排出量

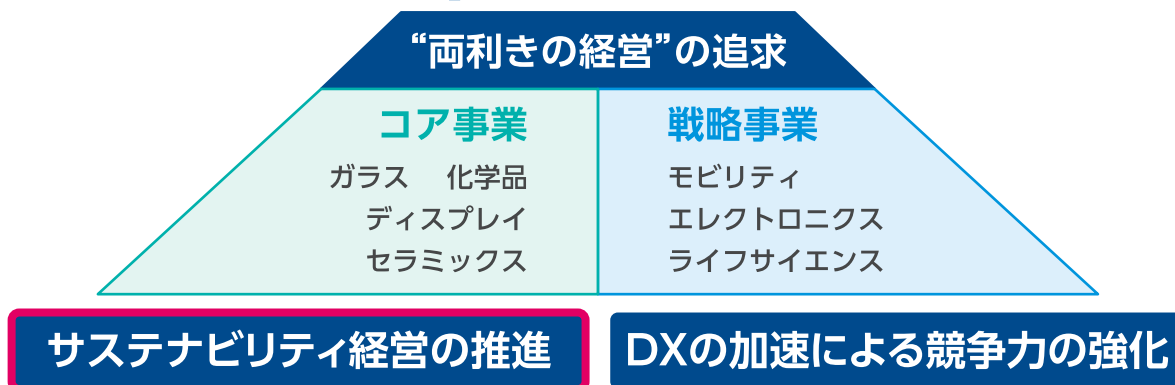
AGCグループは2030年のありたい姿の実現に向けたポートフォリオ変革により、社会的価値・経済的価値を創出し、株主の皆さまをはじめとするステークホルダーの皆さまに様々な価値をプラスします。

今後ともAGCグループへの一層のご期待とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

AGCグループは「2030年のありたい姿」の実現に向けて中期経営計画 *AGC plus-2023* に取り組んでいます。

今回はサステナビリティ経営の中でも特に重要と位置付けられている気候変動への取り組みについて紹介します。

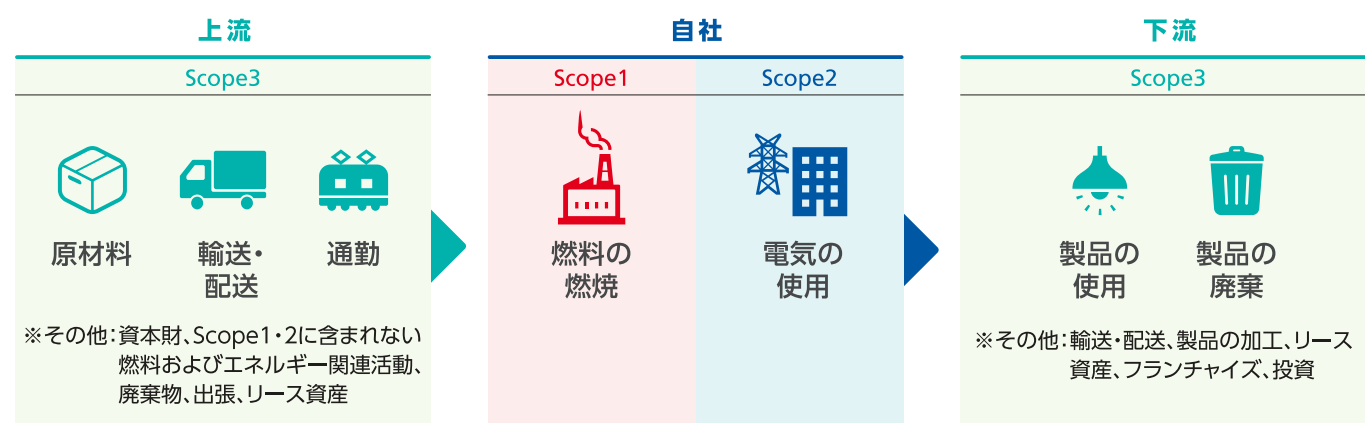
AGC plus-2023の戦略



カーボン・ネットゼロを目指して

2015年に採択されたパリ協定を大きな契機として、世界各国で地球温暖化に対する関心が高まっています。そのような背景のもと、AGCグループは自社の事業活動に伴う温室効果ガス (GHG) 排出量ネットゼロを目指すとともに、製品・技術を活かして世界のカーボン・ネットゼロ実現に貢献していくことを2050年までの長期目標として掲げました。

自社事業活動のGHG排出量削減



自社の事業活動から排出されるGHGは大きくScope 1～ Scope 3の3種類に分けられます。

Scope 1: 工場での生産などを通じて自社拠点で排出されるGHG

Scope 2: 工場などで使用する電力の発電過程で排出されるGHG

Scope 3: 購入原料の生産・物流や自社製品の物流・使用・廃棄などで発生するGHG

AGCグループは、2050年までにScope1、2のGHG排出量ネットゼロを目指します。また、Scope3の領域についても具体的な目標を設定し、削減への取り組みを加速していきます。

製品・技術を活かして世界のGHG排出量削減に貢献

AGCグループが持つ製品・技術は社会のGHG排出量削減に幅広いソリューションを提供することができます。

例えば、ビルや住宅の冷暖房効果を高める「エコガラス」をはじめ、地球温暖化係数 (GWP) が極めて低い冷媒や太陽光発電システムなどの省エネ・創エネに貢献する製品・技術の提供を通じて、気候変動の緩和に貢献していきます。

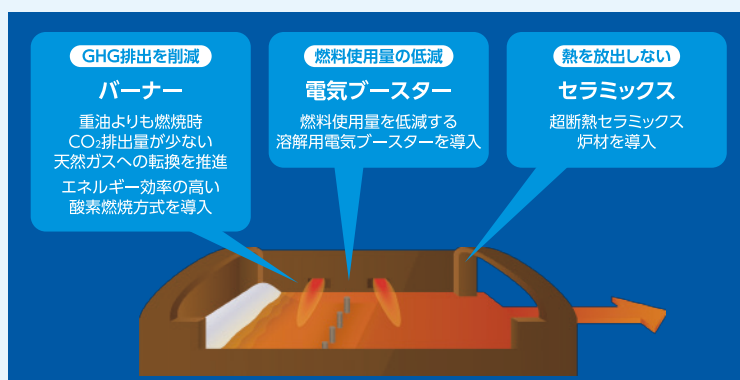
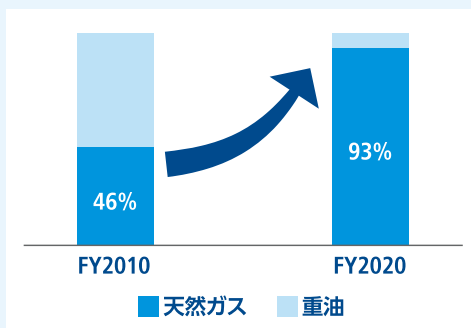
自社事業活動のGHG排出量削減

AGCグループは2050年のカーボン・ネットゼロを目指して様々な取り組みを行っています。ここではその取り組みの一部を紹介します。

ガラス溶解プロセスの革新

ガラスの製造工程でもっとも環境負荷が大きいのは原料を溶かす溶解工程です。このため、環境負荷の低い溶解プロセスの開発が急務となっています。AGCグループでは重油による燃焼と比較してCO₂排出量を約20%削減できる天然ガス燃焼の導入やエネルギー効率の高い酸素燃焼方式、電気ブースター、断熱性の高い炉材の導入などを行っています。新しいガラス溶解プロセスを積極的に導入し、CO₂排出量の少ない高効率なガラス生産を目指しています。

ガラス窯^{※1}の燃料転換実績推移



※1 建築用ガラス、自動車用ガラス、ディスプレイ用ガラスのフロート窯を含む

パレット^{※2} IOT^{※3}によるCO₂削減

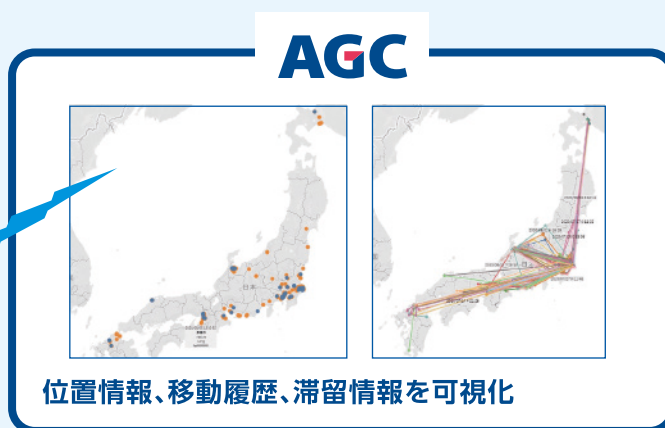
ガラスはパレットに詰められて、トラック輸送にて国内のお客さまに届けられます。AGCグループでは、パレットに通信デバイスを取り付け、物流の効率化を進めています。

現在では2,600台のパレットに通信デバイスが取り付けられており、トラック走行距離の最適化によって導入前と比べて1~5%程度のCO₂排出量が削減されました。

今後は海外でも同様の取り組みを展開し、製品輸送時に発生するCO₂排出量の削減に取り組んでいきます。



大型パレット2,600台に通信デバイスを取り付け



※2 製品となるガラスの輸送容器

※3 Internet of Thingsの略。モノがインターネット経由で通信することを意味する

製品・技術を活かして世界のGHG排出量削減に貢献

AGCグループは自社の製品・技術を活かして世界のカーボン・ネットゼロ実現に貢献していくことを目指しています。ここでは世界のカーボン・ネットゼロに貢献する製品の一部を紹介します。

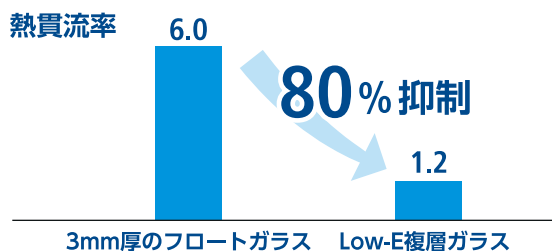
Low-E 複層ガラス サンバランス®

サンバランス®は遠赤外線を反射するLow-E膜(銀)をコーティングした建築用複層ガラスです。光を通し、遠赤外線である日射や暖房を反射する性能があり、通常のガラスよりも室内の保温性を高めることができます。建築用途で一般的に使用される厚さ3mmのフロートガラスと比較すると約80%^{*1}の熱移動を抑制し、建築物のエネルギー効率改善に貢献します。

Low-E複層ガラスの構造



エコガラスの効果例



※1 3mm厚のフロートガラスとガス入りLow-E複層ガラスの熱貫流率で比較

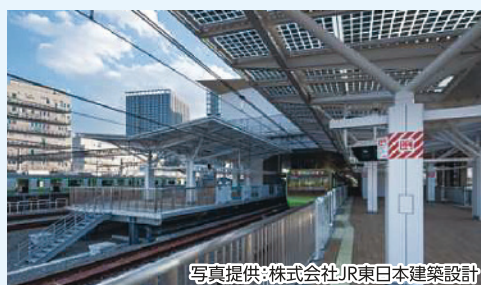
太陽光発電ガラス サンジュール®

サンジュール®は2枚のガラスの間に太陽光発電セルを挟んだ建材一体型太陽光発電モジュールです。ガラスの特長を活かした解放感と熱遮蔽性能を兼ね備えつつ、自由なセル配置により意匠性の高いデザインが可能です。また、窓での創エネが可能のため、太陽光パネル設置場所の制約解消にも貢献します。

導入事例



AGC鹿島工場本事務所棟



写真提供:株式会社JR東日本建築設計

高輪ゲートウェイ駅ホーム屋根部

紫外線カット自動車用ガラス UVベール®シリーズ

UVベール®シリーズは従来のUVカットガラスに高性能UV*2+IR*3吸収膜をコートした製品です。ドアガラスに差し込む太陽光からのIRをカットし、エアコンの負荷を下げることができます。

構造図

従来のUVカットドアガラス

UV吸収剤

ガラスにUV吸収剤を練り込み

※イメージ図

UVベール® Premium Cool on™

UV吸収剤

高性能UV+IR吸収膜

ガラスにUV吸収剤を練り込み + 高性能UV+IR吸収膜

検証風景*4

従来のUVカットドアガラス

肌表面温度 41.4°C まで上昇!

UVverre Premium Cool on

肌表面温度 39.4°C!

※2 UV: 紫外線。日焼けやしみ、しわなどの原因になると言われています
 ※3 IR: 赤外線。太陽から出ている暑さの原因となる光線
 ※4 検証条件: 太陽光を模したメタルハライドランプ2.4kWを3分間照射

環境対応型次世代冷媒・溶剤 AMOLEA®シリーズ

AMOLEA®シリーズは冷凍空調機器や産業用洗浄に使用されるフッ素系冷媒・溶剤です。本製品は従来品と同等以上の性能を持ちながら、GWPを1未満に抑えました。環境負荷を大幅に抑えることで地球環境に優しい社会の実現に貢献しています。

カーエアコン用冷媒

GWP*5

1,430

1未満

R134a*6 AMOLEA® 1234yf

ターボ式冷凍機用冷媒

GWP*5

1,030

1未満

R245fa*6 AMOLEA® 1224yf

※5 GWP: Global Warming Potentialの略。CO₂の何倍の温室効果があるかを表す係数
 ※6 従来品

今回はカーボン・ネットゼロ実現への取り組みの一部を紹介しました。引き続きAGCグループはサステナビリティ経営を推進し、自社のGHG排出量削減に取り組むとともに、世界のカーボン・ネットゼロに貢献していきます。



オンラインCFO対話会

株主の皆さまとCFOの宮地伸二のオンライン対話会を開催します。当社の中長期の経営戦略、競争優位性などを宮地から説明させていただき、株主の皆さまから直接ご質問いただく機会を設けます。奮ってご応募ください。

日時 2022年6/7日 18:00~19:00

募集人数 限定100名様

形式 Zoomを用いたオンライン形式

応募要項

- 対象者: 2021年12月31日現在、当社株式を200株以上ご所有の株主様
- 応募方法: 以下のURLもしくは右の二次元コードより専用サイトにアクセスいただき、必要事項をご入力ください。
- 応募期間: 2022年3月30日(水)~4月22日(金)

<https://magicalir.net/survey> アンケートコード: a0d362fb



ご応募前の確認事項

※ご応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。抽選結果および当日の詳細につきましては、2022年5月上旬までにご登録いただいたメールアドレスにお知らせいたします。

※ご応募の際に、必要事項にもれ等の不備がありますと、ご応募を無効とさせていただきますので、ご注意ください。

※ご応募に際していただいた個人情報は、本株主様向けイベントを実施するうえで必要な限りにおいてのみ使用いたします。

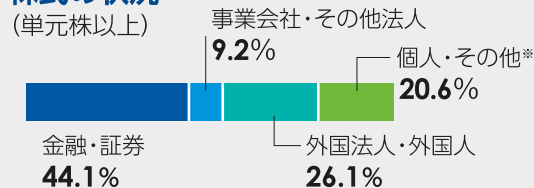
会社概要

商号 AGC株式会社
英文社名 AGC Inc.
創業 1907年9月8日
設立 1950年6月1日
資本金 90,873,373,264円
本社所在地
〒100-8405 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
(新丸の内ビルディング)
電話 (03) 3218-5096
連結対象子会社数
206社(うち海外169社)

株式の状況

発行済株式総数 227,441,381株
株主数 79,917名
(単元株以上株主 69,583名)

株式の状況



※ 自己株式 2.4%を含む

株式関連情報

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会開催月 3月
基準日 定時株主総会 / 12月31日
期末配当 / 12月31日
中間配当 / 6月30日
公告方法 電子公告
[公告掲載アドレス]
<http://www.agc.com>

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
[連絡先]
電話 0120-232-711 (通話料無料)
[郵便物送付先]
〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

配当金のお支払いについて

配当金は、支払開始の日から満5年を経過いたしますと、定款の定めにより、お支払いができなくなりますので、お早めにお受け取りください。
なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

単元未満株式をご所有の株主様へ

株主様がご所有の当社単元未満株式(1~99株)につきましては、当社に対し買取・買増をご請求することができます。お手続き用紙のご請求その他お手続きの詳細は、下記お問合せ先までご連絡ください。

株式に関するお問合せ先

証券会社等に 口座をお持ちの場合	特別口座の場合
口座を開設されている 証券会社等	三菱UFJ信託銀行株式会社(特別口座管理機関) 電話(0120)232-711(通話料無料)

(2021年12月31日現在)

将来情報に関する注記

本誌の記載のうち、将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確定な要素を含んだものであることをご理解ください。